

日本図書館協会 学校図書館部会 第47回夏季研究集会熊本大会のご案内

2018年4月1日

学 校 長 様
所 属 長 様
学校図書館関係教職員様

公益社団法人 日本図書館協会
理事長 森 茜
日本図書館協会 学校図書館部会
部会長 高橋 恵美子

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本図書館協会・学校図書館部会では第47回夏季研究集会(熊本大会)を下記のとおり開催いたします。

つきましてはご多用の折とは存じますが、貴職下職員の参加につきまして、特段のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

開催日：2018年8月5日(日)～6日(月)

会 場：くまもと県民交流館パレア (9階会議室)
〒860-8554 熊本市中央区手取本町8番9号 テトリアくまもとビル

主 催：公益社団法人 日本図書館協会

後 援：熊本県教育委員会
熊本市教育委員会
熊本県学校図書館協議会

《問い合わせ先》

神奈川県立百合丘高校 図書館 松本 美智子
〒214-0036 神奈川県川崎市多摩区南生田4-2-1
電話 044-977-4793 (図書館直通：平日9:00～17:00)

日本図書館協会 学校図書館部会

第47回夏季研究集会熊本大会開催要項

1. 主題 「学校図書館の機能を活かす—そのための条件を考える—」

2. 趣旨

近年の書店の減少、子どもの貧困の状況を考えると、子どもの読書活動推進に学校図書館のはたす役割はますます大きくなっています。一方で学校司書に関しては、配置率が増えているとはいえ正規職員、有資格の司書が減っている問題があります。

学校図書館が図書館であるために、必要な条件とは何でしょうか。学校図書館サービスは、通常の図書館利用ができない人々に対しても平等に提供されなければなりません。そのためにしなければならないことを考えるとともに、学校図書館の実践のあり方、教職員との協力、図書館同士のネットワークなど、学校図書館の機能を活かすためのさまざまな条件を考えていきましょう。

3. 日程

第1日 8月5日(日) 会場：くまもと県民交流館パレア(9階会議室)

13:00 13:30 13:40 14:20 14:30 16:40 17:10 19:10

受付	開会・挨拶	部会報告1	休憩	講演	(移動)	交流会
----	-------	-------	----	----	------	-----

第2日 8月6日(月) 会場：くまもと県民交流館パレア(9階会議室)

9:30 10:00 10:30 11:00 11:10 11:50 13:00 13:40 14:20 14:30 16:20 16:30

受付	部会報告2	被災報告	休憩	実践報告1	昼食	実践報告2	実践報告3	休憩	研究討議	閉会
----	-------	------	----	-------	----	-------	-------	----	------	----

※報告集での個人情報の掲載に関して

夏季研究集会終了後に発行される報告集に、個人名、所属、発言などが掲載されることがありますので、ご了承ください。また、報告集には、参加者の都道府県名・氏名・所属を記載した参加者名簿を掲載する予定です。これらにつき、不掲載を希望される場合は、お手数ですが、大会事務局までご連絡ください。

4. 内容

- (1) 部会報告 1 学校図書館をめぐる状況 図書館年鑑編集委員 堀岡 秀清 氏
文部科学省の動向、部会の取り組み等

- (2) 講演 インクルーシブ教育時代の学校図書館 ～求められる視点と対応～
専修大学文学部教授 野口 武悟 氏

インクルーシブ教育の進展に伴って、いまや、何らかの障害により特別な支援を必要とする児童生徒の多くが小学校、中学校、高等学校で学んでいる。小学校、中学校に続き、2018年度からは高等学校においても通級指導が制度化される。また、日本語指導を必要とする児童生徒も増加傾向にある。こうした多様化する児童生徒のニーズに、学校図書館としてはどのように対応していったらよいのだろうか。具体例に学びながら、考えていきたい。

〔講師紹介〕

専修大学文学部教授・同大学院法学研究科教授、放送大学客員教授。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了、博士（図書館情報学）。現在、一般社団法人日本子どもの本研究会会長、公益社団法人日本図書館協会障害者サービス委員会委員、文部科学省「子供の読書活動推進に関する有識者会議」委員、東京都「言語活動及び読書活動の促進委員会」専門委員、小田原市、十日町市、守谷市の図書館協議会副委員長などを務める。主な著書に『多様性と出会う学校図書館：一人ひとりの自立を支える合理的配慮へのアプローチ』（共編著、読書工房、2015年）、『図書館のアクセシビリティ：「合理的配慮」の提供へ向けて』（共編著、樹村房、2016年）などがある。

- (3) 部会報告 2 学校図書館の施設設備基準案の報告
部会幹事会担当幹事 佐藤 千春 氏・中村 崇 氏
幹事会が検討してきた施設設備基準案の内容を報告し、参加者で討議する。

- (4) 報告 熊本地震による学校図書館被災報告
熊本県立天草拓心高等学校 学校司書 秋田 倫子 氏

2016年4月に起こった熊本地震で被災した学校図書館の状況を報告する。県下全域の高校図書館を中心にアンケート調査を行い、書架の転倒や破損、本の落下などの危険性についてまとめた。この報告がどこかの図書館の防災・減災のヒントになることを願っている。

- (5) 実践報告 1 学校図書館システムの構築と司書と教師の関わり
熊本市立砂取小学校 校長 原 輝智 氏・教諭 永川 真美 氏

学校図書館を児童にとって有効に活用できるようにするには、システムのネットワーク化、司書の常駐、司書と教師の連携が必要である。熊本市では学校図書館ネットワークを構築し、全小中学校に司書業務補助員を配置している。また、司書業務補助員と教師が連携し、授業で活用する資料や教材の掘り起こしを行っている。本報告では宮沢賢治「注文の多い料理店」の授業での実際をお伝えする。

- (6) 実践報告 2 「人」がいる学校図書館の可能性
熊本県大津町立大津北中学校 学校司書 古澤 理恵 氏

「場所」「人」「本（情報）」という3つの視点から本校での実践を報告する。実践の中から見えてきたものは、「専任の正規職員」という「人」の存在である。学校図書館の機能を発揮するためには、機能を発揮させる「人」の存在が必要なのではないだろうか。常時専任で学校図書館に関わることができる「人」がいる学校図書館の一事例として本校の実践を提示し、「人」がいる学校図書館の可能性について考えたい。

- (7) 実践報告 3 学校図書館を支えるネットワーク
神奈川県立磯子高校 学校司書 田子 環 氏

小規模で予算も人員も限られる学校図書館が、その機能を存分に発揮するためには、図書館ネットワークの存在が欠かせない。校内に一人しかいないことが多い学校司書にとっても、困った時に助け合える「横のつながり」は大切である。神奈川県立高校では、長年かけて学校図書館を支える人・物・情報のネットワークを構築してきた。その経緯や活用事例を報告し、学校図書館のネットワークのあり方について考える契機としたい。

- (8) 研究討議

5. 参加お申込み・参加費のご案内（払込用紙記入の注意）

ゆうちょ銀行の下記口座に、「払込取扱票」の通信欄に必要事項をご記入の上参加費を払い込むことをもって、申し込み受付とします。「振替払込請求票兼受領証」が受付確認書類となります。「振替払込請求票兼受領証」は大会当日にご持参下さい。「領収書」は大会当日お渡しします。

ゆうちょ銀行振替口座 口座番号 00960-9-276261
加入者名 夏季研究集会事務局

	全日参加	記号	1日参加	記号
会員	2,500円（報告集代・送料含む）	A	2,000円（報告集代・送料含む）	B
非会員	3,500円（報告集代・送料含む）	C	3,000円（報告集代・送料含む）	D
学生	1,000円（報告集代含まず）（1日参加も同額です）			
報告集のみ購入希望（送料含む）	1,000円			F
交流会 参加費	5,000円			G

※払込取扱票通信欄の該当する記号に○印をつけて、合計金額を振り込んで下さい。

例…日本図書館協会会員で全日参加、交流会に参加する場合、AとGに○印をつけ、7,500円を振り込む。

※ご記入頂いた住所が、報告集送付先となります。自宅か所属かが分かるように記入し、所属の場合はその名称・部署等も（報告集が届くように）ご記入下さい。

申込締切日……2018年7月13日（金）

会計上のお問合せは、大会会計をお願いいたします。

大会会計 大浦和子 k.s.ooura@helen.ocn.ne.jp

○宿泊について……宿泊先の斡旋はいたしません。

○会場へのアクセス

- 交通アクセス：JR熊本駅から市電で17分、「水道町」又は「通町筋」電停下車
熊本市営バス、九州産交バス、熊本電鉄バスで18分、「水道町」又は「通町筋」バス停下車
熊本空港から九州産交バス（空港専用リムジンバス）で40分、「通町筋」バス停下車

